

詩 118:22 「家を建てる者たちの捨てた石。それが礎の石になった。」【新改訳】

捨てられたはずの石が、やがて不思議な方法により重要な役割を得る・・・これは詩篇の時代においてはイスラエルのこと。主の一方的な恵みによってエジプトから脱出し、約束の地へと導かれたにも関わらず、背信を繰り返し、やがて滅亡～捕囚という、まさに神様からも近隣諸国からも見捨てられたように思えたイスラエル。ところがその只中にイエス様がお生まれになった、救いの源になった、最も重要な礎となったのです。

またこの箇所は、新約の解釈ではイエス様ご自身を指しています。実際、新約聖書ではマタイ 21:42 や使徒 4:11 など多くの個所で引用されています。弟子に裏切られ、人々に見捨てられたイエス様。でもその十字架は、救いの礎となったのです。

そしてこの御言葉は、今、私たちをも照らすものとなりました。捨てられて当たり前私を愛し、その一人子をお与えになったほどのお方。そのお方にとってあなたは大切な存在、重要な意味を持つ存在だということです。

ハレルヤ、主の御名を賛美いたします！

オレンジ郡教会 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2018年8月19日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

このように、いつまでも
存続するものは、信仰と
希望と愛と、この三つで
ある。このうちで最も大
いなるものは、愛である。
1コリント13:13

☆集会所案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

